



公開版

SAP Business One 8.8 の最新情報

すべての国

2009 年 5 月

目次

SAP Business One 8.8 のハイライト	3
会計管理	4
財務会計	5
入出金	6
取引先	7
販売伝票と購買伝票	8
在庫	12
Crystal Reports の統合	13
使いやすさ	15
インフラストラクチャの拡張	17
エコシステム	18
アップグレード情報	19
Software Development Kit (SDK)	20
UDO DI へのアクセス	20
SDK のパフォーマンスの向上	20
XML 形式での削除のサポート	20
DI API	21
UI API	22
アドオン	23
Copyrights, Trademarks, and Disclaimers	24

SAP Business One 8.8 のハイライト



注記

この文書では、SAP Business One 8.8 で導入された主な機能拡張および修正について簡単に説明します。

また、SAP ノート 1291272 を参照して、最新情報を確認してください。SAP ノート 1291272 は、SAP Business One 8.8 文書パッケージの完成後に作成されたすべての SAP ノートをまとめたものです。

SAP ノートには、次の手順でアクセスすることができます。

1. Web ブラウザのアドレスバーに次の URL を入力します。

<http://service.sap.com/smb/sbocustomer>

2. *Get Support* をクリックします。

新たなレポート機能 – Crystal Reports Basic 2008 for SAP Business One は、Web を介したレポートやエンタープライズアプリケーションに組み込んだレポートの設計、探索、表示、および配信を支援する強力かつ動的なレポートソリューションです。

ユーザエクスペリエンスの向上 – 再設計されたグラフィカルユーザインタフェースが、アプリケーションの使用とナビゲーションを容易化します。数百ものエラーメッセージがわかりやすく書き直され、また詳細な説明を示す文書へのリンクが組み込まれました。

ビジネスプロセスの合理化 – ピッキング/梱包プロセス、ATP (納期回答)、複数の数量単位、自動集計ウィザード、総利益などのビジネス管理機能が拡張されました。

ローカル要件のサポート – SAP Business One 8.8 は、源泉徴収税 (TDS) や、売掛伝票および購買伝票でのマイナスの合計値などの、国別の要件およびベストプラクティスの継続的な充足と導入を可能にします。

複雑さの緩和 – これまで、各国で業務を行う子会社はそれぞれ現地対応の SAP Business One リリースを使用する必要がありましたが、統合された SAP Business One 8.8 には、すべてのローカライズが含まれているため、子会社間の統一を容易にとることができます。アップグレードプロセスも大幅に簡素化されました。

セキュリティ – SAP Business One 8.8 は、データセキュリティ保護機能とともに高度な集中認証フレームワークを備えているため、SAP Business One のコアアプリケーションとサードパーティソリューションの両方で得意先データの保護とセキュリティを強化することができます。

インフラストラクチャー – データのアーカイブ、取引管理、メモリガバナンス、キャッシュメカニズム、許容誤差などが大幅に改善されました。

予防サポート – トレースおよびログ機能の拡張によって、SAP Business One インストールの診断機能が大幅に強化されました。

業種別ソリューション – 新たなツール Solution Packager が、SAP パートナによる、それぞれのお客様固有のニーズに対応するパッケージ化された業種別ソリューションの展開を促進します。

会計管理

機能	説明
代替統制勘定 ¹	<p>この拡張によって、伝票レベルでの統制勘定の変更が可能になります。G/L 勘定設定および取引先マスタデータで、買掛金や売掛金の初期統制勘定を定義することができます。請求書の登録時には、選択リストから代替統制勘定を選択することによって、初期統制勘定を変更することができます。</p>
変更ログ	<p>SAP Business One 8.8 では、G/L 勘定の設定が可能な <i>管理</i> モジュールの次のウィンドウに関する変更ログが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 税グループ - 定義 • 源泉徴収税コード - 定義 • 取引銀行 - 定義 • 費用 - 定義 • クレジットカード - 定義 <p>この拡張によって、G/L 入力の確認と監査が容易になります。</p>
仕訳伝票通貨の設定	<p>新規の会社に適用される <i>書式設定 - 仕訳伝票</i> ウィンドウの初期設定が、ユーザの意向に合わせて変更されました。SAP Business One 8.8 では、仕訳伝票に外貨明細を入力して、現地通貨額を調整した場合、外貨通貨額は元のままで、再計算されません。</p> <p>この変更は仮仕訳帳にも適用されます。</p>
TDS -- 源泉徴収税 (インド)	<p>SAP Business One に新たに統合されたこの機能では、1961 年に制定された所得税法に従って、収入の発生または見越時に税 (所得税) を源泉徴収することができます。</p>
eTDS (インド)	<p>この拡張では、税務当局に提出する、源泉徴収された所得税に関する eTDS 納税申告書を生成することができます。</p>

¹ クラスタ A の国向けの新機能。

財務会計

機能	説明
年齢調べ表レポートの修正	<p>売掛金の回収と買掛金の支払の効率を高めるように、得意先売掛金年齢調べ表レポートと仕入先買掛金年齢調べ表レポートの機能が拡張されました。</p> <p>年齢調べ表レポートの生成時に以下の操作が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 得意先売掛金年齢調べ表レポートでは、得意先または営業担当ごとにレポートをグループ化することができます。また、仕入先買掛金年齢調べ表レポートでは、仕入先または購買担当者ごとに買掛金をグループ化することができます。 期間をより柔軟に指定することができます。期間の <u>日数</u> では、新たな 4 つの項目を使用した期間の指定が可能です。 事後送金を無視を選択することによって、レポートの事後送金列を非表示に設定することができます。 <p>年齢調べ表レポートが生成されたら、年齢調べ表レポートウィンドウで複数の得意先または複数の仕入先に関する詳細な情報を確認することができます。各得意先または仕入先をダブルクリックしなくても、それぞれの詳細が表示されます。²</p>
総利益	<p>総利益を計算する方法が次のように改善されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 完了伝票も含めて、すべての販売伝票の総利益を修正できるようになりました。 総利益計算の合計基準価格を表示する新しい項目を使用して、総利益ウィンドウで利益マージンをすばやく計算することができます。 アイテムベースとサービスベース、両方の販売取引に関する総利益レポートを表示できるようになりました。 総利益の計算に組立部品構成表を組み込めるようになりました。
法定リスト (英国およびドイツ)	<p>EU 販売レポートなどの法定リストの生成は、これまで SAP Business One の統合プラットフォームで行われていましたが、これに替わるものとして、新たに書式主導型のウィザードが導入されました。Crystal Reports テクノロジを活用するこのウィザードでは、新たなユーザエクスペリエンスと追加機能が提供されます。</p>

² 複数の得意先または複数の仕入先に関するビューは、クラスター A の国に限定した新機能です。

入出金

機能	説明
支払ウィザード	<p>支払ウィザードでは、銀行振込、小切手、および手形の支払と入金を一括登録することができます。ユーザが定義した選択基準と支払方法に従って、支払 (入金) が登録されます。支払推奨レポート生成のユーザエクスペリエンスを高める、新しいオプションが追加されました。</p> <p>新しい項目により、期日および伝票日付の範囲をより広く設定して、支払処理に組み込む伝票を選択することができます。</p> <p>取引のいずれかが最小金額の定義値を下回っている場合、支払処理を完了できなくなりました。</p> <p>支払ウィザードでのロックされている期間の処理が改善されました。ロック期間内の伝票が含まれているために、推奨ステータスが設定された支払処理を実行できない場合でも、その支払処理は削除されなくなりました。</p>

取引先

機能	説明
取引先の削除	取引先マスタウィンドウの 担当タブの右クリックメニューオプションがわかりやすくなりました。削除オプションは取引先削除に、行削除オプションは担当を削除に、それぞれ改名されました。

販売伝票と購買伝票

機能	説明
前受/前払金	<p>前受/前払金機能は次のように拡張されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最終請求書への前受/前払金請求のリンクは、旧バージョンの SAP Business One で入出金モジュールで行う必要がありましたが、請求書の登録時にリンクできるようになりました。 SAP Business One で、前受/前払金請求書または前受/前払金請求と、それに関連する最終請求書で異なる消費税コードの使用が可能になり、より改善された、明快な消費税レポートを生成できるようになりました。³ クレジットメモで前受/前払金に対してどの VAT 配賦を割り当てるかを指定することができます。 最終請求書にまだリンクされている支払済の前受/前払金も、未処理明細リストに表示されるようになりました。 チェコ、ハンガリー、ポーランド、およびスロバキア向けのローカライズでは、前受/前払金請求書と前受/前払金請求と一緒に最終請求書にリンクすることができます。 前受/前払金請求プロセスの会計転記が、中国、チェコ共和国、ハンガリー、日本、韓国、ポーランド、ロシア、スロバキアを除くすべての国で変更されました。 前受/前払金請求書または前受/前払金請求をリンクするためのユーザインタフェースが拡張され、ビジネスプロセスの処理に必要なすべての情報が表示されるようになりました。
受注におけるアイテムの利用可能数量	<p>ATP は、未処理のすべての受注、購買発注、および製造指図の分析に基づいて、得意先からの引合に回答するビジネス機能です。ATP によって、要求されたアイテムの利用可能数量のリストが生成されます。ATP は在庫レポートから開くことができます。</p> <p>受注のアイテム利用可能在庫確認に、アイテムの利用可能数量に関する追加情報を示す基本 ATP レポートが組み込まれるようになりました。</p>

³ チェコ、ハンガリー、ポーランド、およびスロバキア向けのローカライズではご利用になれません。

機能	説明
転記済の販売伝票と購買伝票の修正 (フランスおよびメキシコ)	<p>これまでいくつかの国で利用可能になっていた、SAP Business One に転記されている販売伝票と購買伝票の特定のデータを修正する機能が、フランスおよびメキシコ向けのローカライズにも導入されました。</p> <p>SAP Business One への伝票の転記後に修正することが可能なのは、売掛/購買請求書、売掛前受金/買掛前払金請求、売掛前受金/買掛前払金請求書、売掛/購買予約請求書、および売掛/購買クレジットメモの次のデータです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 期日 (伝票の一部またはすべてが別の伝票にコピーされている場合と、伝票の一部またはすべての金額が支払われている場合を除く) • 支払方法 (伝票の一部またはすべてが別の伝票にコピーされている場合と、伝票の一部またはすべての金額が支払われている場合を除く) • 支払先データ (伝票の一部またはすべてが別の伝票にコピーされている場合と、伝票の一部またはすべての金額が支払われている場合を除く) • 営業担当 (随時変更可能) • 購買担当者 (随時変更可能) • オーナー (随時変更可能) • テキスト行 (随時変更可能) <p>また、出荷/納入、購買入庫、返品、および購買返品のデータも修正可能です。支払条件を変更することができます (伝票の一部またはすべてが別の伝票にコピーされている場合と、伝票の一部またはすべての金額が支払われている場合を除く)。</p> <p>SAP Business One の変更ログでは、実行したあらゆる変更が追跡されます。転記され、印刷された後に変更された伝票を印刷した場合、その印刷にはすべての修正内容が組み込まれ、修正済というタイトルが付けられます。</p>
輸送コストの関税計算	<p>関税の適用対象のすべての輸送コストに対して、関税を計算できるようになりました。SAP Business One では、関税を適用するコストをユーザが選択することができます。</p> <p>また、アイテムに輸送コストが関連付けられている場合の関税の計算および配賦方法が修正されました。以前は、関税は FOB (本船渡し) ベースで計算されていましたが、今回の拡張では、アイテムの合計コストに基づいて、つまり輸送コストを含めて、計算され、配分されます。</p>

機能	説明
クレジットメモと返品におけるマイナス行	マイナス行を含む購買/売掛クレジットメモ、購買返品、および返品を転記できるようになりました。
販売伝票と購買伝票におけるマイナスの合計 ⁴	<p>この拡張によって、マイナスの合計値を持つ次の購買伝票と販売伝票を生成できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 売掛請求書および購買請求書 ● 売掛クレジットメモおよび購買クレジットメモ ● 売掛出荷/納入 ● 売掛返品 ● 買掛購入在庫 ● 買掛購買返品
自動集計ウィザード	<p>転記元伝票の選択と、転記先伝票の連結オプションに関連して、自動集計ウィザードが拡張されました。</p> <p>得意先コードを考慮に入れることなく、伝票の順序番号のみに従って伝票を処理できるようになりました。転記元伝票のソート基準が、3つのパラメータによるソートをサポートするように拡張されました。また、ウィザードの実行に、分割納入のための受注を組み込めるようになりました。転記先伝票の連結基準も詳細化され、より柔軟な処理が可能になりました。</p>
未転記保存機能の可用性	SAP Business One 内の未転記保存が可能な場所で、コンテキストメニューに伝票の未転記保存オプションが追加されました。そのため、伝票を未転記保存する必要がある場合、伝票内を右クリックして未転記保存オプションを選択することによって、ファイルメニューからこのオプションを選択するのと同様に、この機能呼び出すことができます。
転記元伝票から転記先伝票への為替レートのコピー	<p>転記元伝票から転記先伝票を登録する際の外貨為替レートの処理が、転記元伝票と転記先伝票の整合性を維持するように拡張されました。また、転記元伝票から転記先伝票に伝票の為替レートをコピーできるようになりました。このオプションは、コピー元機能の使用時と自動集計ウィザードの使用時の両方に適用されます。</p>

⁴ 該当する国は次のとおりです。オーストラリア、オーストリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、中国、チェコ共和国、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、ハンガリー、インド、アイルランド、イタリア、日本、韓国、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、プエルトリコ、ロシア、シンガポール、スロバキア、南アフリカ、スウェーデン、スイス、英国、米国

機能	説明
住所構造	<p>SAP Business One では、販売伝票と購買伝票において、完全な住所を書式付で保存するほかに、住所の各構成要素を個別項目に保存することもできます。個別項目に保存した場合、ユーザは、さまざまなレポートの生成時に、必要に応じて、他の住所書式を使用して住所構成要素を再編成することができます。また、各住所構成要素の値を伝票レベルで変更することもできます。この機能によって、電子データ交換 (EDI) などの、構成要素構造の住所項目を必要とする外部アプリケーションとの統合が容易化されます。</p>

在庫

機能	説明
ピッキング/梱包	SAP Business One のピッキング/梱包プロセスで、特定の取引先のピッキングリストにおける与信限度額レベルと未確定債務レベルの適用または上書きが可能になりました。また、ピッキング/梱包マネージャで、商品は存在するが SAP Business One に未入力の場合など、リリース可能な数量がない場合でもピッキングリストにアイテムをリリースできるようになりました。
在庫ステータス	ATP は、未処理のすべての受注、購買発注、および製造指図の分析に基づいて、得意先からの引合に回答するビジネス機能です。ATP によって、要求されたアイテムの利用可能数量のリストが生成されます。ATP は在庫レポートから開くことができます。
複数の数量単位	<p>複数の数量単位に関する基本機能のサポートによって、SAP Business One の販売伝票、購買伝票、および在庫伝票でアイテムの数量単位を変更および削除できるようになりました。</p> <p>例:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 壁紙を 50 フィートのロール単位で仕入れて、フィート、ヤード、またはロール単位で販売する。 • ソフトドリンクをケース単位で仕入れて、ボトル、6 本入りパック、またはケース単位で販売する。
S/N とロット番号	S/N (シリアル番号) とロット番号の処理が合理化されました。たとえば、ロットが複数の異なる倉庫に分散していても単一オブジェクトとして処理されるようになりました。ロットの場所が違ってプロパティを同じにすることができます。
在庫評価シミュレーションレポート	継続棚卸システムを運用する企業向けの在庫評価レポートが、レポートの目的を明確にするため、在庫評価シミュレーションレポートに改名されました。

Crystal Reports の統合

SAP Business One 8.8 リリースには、Crystal Reports Basic 2008 for SAP Business One が組み込まれているため、ユーザおよび取引先は、レポートやレイアウトを登録したり、表示したりすることができます。




注記











既存のお客様は、印刷レイアウトデザイナー (PLD)、XL Reporter、クエリマネージャなどの既存の印刷ソリューションを継続してご利用になれます。これらの機能を Crystal Reports と並行して運用することができます。

Advanced Layout Designer (ALD) は、SAP Business One 8.8 のレポートソリューションには含まれていません。

機能	説明
Crystal Reports Basic 2008 for SAP Business One	<p>Crystal Reports のレポートおよびレイアウトの登録や編集を行って、SAP Business One データベースに保存できるようになりました。</p> <p>SAP Business One データベーステーブルの読取り可能なメタデータ情報を使用して、レポートやレイアウトを簡単に登録することができます。これらのテーブルは、SAP Business One メインメニューのモジュールに従って編成されています。</p>
Crystal Reports Viewer	<p>レポートや文書の正確な印刷プレビューを提供し、PDF、XML、Microsoft Excel などの書式へのレポートのエクスポートを可能にする、WYSIWYG (What You See Is What You Get) コンポーネントです。このビューアでは、フィルタリング機能 (各種パラメータに基づくフィルタリングなど) を使用することもできます。</p> <div>  注記 </div> <p>Crystal Reports Viewer は SAP Business One コア製品に統合されているため、別途インストールする必要はありません。</p>

機能	説明
レポートとレイアウトの管理	<p>SAP Business One 8.8 では、新たなレポートおよびレイアウト管理ウィンドウにアクセスすることができます。標準の PLD レイアウトと Crystal Reports レイアウトの両方のプロパティを一箇所で確認することが可能です。レポートおよびレイアウト管理ウィンドウでは、以下の操作を行えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 外部で登録された Crystal Reports レポートおよびレイアウトの、SAP Business One へのインポート • SAP Business One からの Crystal Reports レポートおよびレイアウトのエクスポート • Crystal Reports レポートの実行 • レイアウト印刷順序の定義
マスタレイアウト	<p>販売伝票や購買伝票用に Crystal Reports マスタレイアウトを登録して、複数の種類の販売伝票や購買伝票に適用することができます。たとえば、販売請求書用に登録されたマスタレイアウトを、販売見積や購買請求書などに適用することができます。</p>
転記元伝票へのドリルダウン	<p>Crystal Reports のレポートやレイアウトにリンク矢印  を挿入して、関連する画面へのドリルダウンを可能にすることができます。</p>
選択基準	<p>SAP Business One 8.8 では、SAP Business One のテーブルおよびデータベースのデータを、動的に登録された選択基準ウィンドウに抽出することができます。また、選択基準ウィンドウで、チェックボックスやリストから選択ウィンドウなどの、標準の SAP Business One ユーザインタフェース要素との整合性が維持されたコントロールを登録することができます。</p>
Xcelsius のサポート	<p>Xcelsius ソフトウェアライセンスを購入されたユーザは、Crystal Reports のレポートに Flash オブジェクトを組み込むことができます。</p>

使いやすさ

機能	説明		
新たなスキン	SAP Business One 8.8 では、新たな外観を備えるグラフィカルユーザインタフェース (GUI) が導入されました。この新しい GUI では、他の SAP 製品の GUI との整合性が維持されています。SAP Business One ユーザは、随時、SAP Business One の従来の GUI に切り替えることができます。		
伝票の終了および取消	SAP Business One での伝票の終了または取消処理の結果を明快に示すために、システムメッセージの追加と改訂が行われました。		
データのアーカイブ	<p>SAP Business One を 2 年以上を使用しているユーザ向けに、すでにロックされている旧会計期間に関連する、終了した取引データ (終了した販売伝票や購買伝票、照合済仕訳伝票など) をアーカイブするための新しいユーティリティが導入されました。</p> <p>このデータアーカイブユーティリティでは、プロセスの予想結果をプレビューできるため、データベースから削除される伝票や、データベースの削減量などを把握することができます。それによって、アーカイブプロセスを実行すべきかどうかや、アーカイブパラメータを再入力すべきかどうかを判断することができます。</p> <p>データをアーカイブできない場合は、エラーログが表示され、問題の診断が示されます。</p> <p>特定の取引先、アイテム、または G/L 勘定を選択して、無効にすることができます。また、無効化した取引先やアイテムをレポートから除外することができます。</p>		
エラーメッセージに関する文書およびログ	日々の業務で表示される何百ものエラーメッセージが拡張されました。エラーメッセージ自体に設定されているリンクをクリックすることによって、エラーの原因と解決策に関する情報にアクセスすることができます。また、エラーメッセージがよりわかりやすくなりました。さらに、初期設定で、ドッキングウィンドウとして拡張システムメッセージウィンドウが開きます。		
新しいアイコン	SAP Business One 8.8 では次のアイコンが変更されました。		
	旧	新	用途
			SAP Business One のアプリケーション、UI-API タスクバー、アドオン
			Common Upgrader
			SAP Business One DVD、SAPbouiCOM.exe、アドオン
			SAP Business One Service Manager
			データ転送ワークベンチ

機能	説明		
			スクリーンペインタ
			XL Reporter

インフラストラクチャの拡張

機能	説明
ライセンスサーバ	<p>修正された SAP Business One ライセンスサーバでは、所有ライセンスに従って会社を登録できるようにする新しいライセンスモデルが適用されます。ライセンスサーバの 1 インストール上での複数のライセンスファイルのサポートが追加されました。また、ライセンスサーバは、ライセンスに対してソフトウェアバージョンをチェックして、ソフトウェアメンテナンスの向上を促進します。ラインセンスには、グローバルなもの、特定のローカライズ限定のものがあります。以下に示す新しいライセンスタイプでは、ユーザタイプ別に、SAP Business One の機能へのアクセスを制限することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CRM 限定ユーザ • 財務管理限定ユーザ • ロジスティクス限定ユーザ • 間接アクセスユーザ (アドオンへのアクセス用)
セキュリティの拡張	<p>SAP Business One 8.8 では、得意先データの保護を強化するために、暗号化の高度なアルゴリズムとメカニズムをサポートしています。エンドユーザのログオンプロセスは簡素化され、SAP Business One ユーザ名とパスワードを使用した認証だけで済むようになりました。サーバ変更時のデータベースへのログオンとパスワード認証は不要になったため、データベースへの権限のないアクセスは制限されます。データベースのデータの完全性を強化するために、特定の SAP Business One ユーザが、SAP Business One のクエリエディタを使用して、会社のデータベースで特定の読取専用クエリのみを実行できるようにする新しいユーザ権限が導入されました。デフォルトマネージャユーザは、SAP Business One でのセキュリティ違反を防止するための会社のパスワードポリシーに関して、他の SAP Business One ユーザと整合しています。</p>
トレースおよびログ	<p>拡張メカニズムによって、SAP Business One のアプリケーションおよびデータベースに関連するシステムメッセージが収集され、編集可能なプレーンテキスト (*.txt) 形式のファイルに保存されます。このファイルは、問題の追跡や、分析および解決プロセスの迅速化に役立ちます。</p>

エコシステム

機能	説明
Solution Packager	<p>Solution Packager ツールは、SAP パートナによる業種別ソリューションの展開を支援します。内容は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Company Packager: 特定の設定、アドオン、およびその他のパートナ固有のデータを含む、業種別 Solution Package の作成を支援するパートナ向けのユーティリティ。 • SAP Business One 内の新しいウィザード: パッケージから新しい会社を登録して、完全なソリューションを展開することができます。
SAP Business One アップグレードウィザード	<p>この新しいツールでは、SAP Business One のアップグレードの統合手順が示されます。ウィザード画面の指示に従って、以下の作業ステップを順番に実行してアップグレード処理を進めることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ライセンスサーバの確認: ライセンスサーバの準備ができていることと、アップグレードのセキュリティが強化されていることを確認します。 • 接続の設定 • データベースの準備の確認 (アップグレード前チェック): Common データベースと会社のデータベースがサーバのアップグレードに利用可能なことを確認します。 • バックアップロケーションの設定 • SAP Business One のアップグレード • 各コンポーネントおよびデータベースに対する、アップグレード完了のチェック (アップグレード後チェック) • SAP Business one のリストア (アップグレードに失敗した場合): アップグレード前のバージョンの SAP Business One に復帰できるようにします。

アップグレード情報

機能	説明
アップグレードパス	<p>SAP Business One 8.8 へのアップグレードパスは、以下のリリースからサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none">• SAP Business One 2005 A SP01• SAP Business One 2005 B• SAP Business One 2007 A• SAP Business One 2007 A SP01• SAP Business One 2007 B

Software Development Kit (SDK)

SAP Business One には、COM テクノロジに基づいたプログラミング API が装備されています。SAP Business One の機能範囲をそのまま使用することも、特定のニーズに合わせて調整することもできます。API は、開発文書とコードサンプルを含む Software Development Kit (SDK) として提供されます。

SAP Business One の SDK を使用すると、SAP Business One の機能を拡張および変更して、業種別または会社固有の機能や、サードパーティツールとのインタフェースを作成することができます。

UDO DI へのアクセス

機能	説明
GeneralService (DI API からの UDO データへのアクセスに使用)	新たな GeneralService を使用して、DI API からユーザ定義オブジェクト (UDO) のデータにアクセスできるようになりました。UDO の親オブジェクトと子オブジェクト両方のデータの追加、更新、および削除が可能です。

SDK のパフォーマンスの向上

機能	説明
アプリケーションと API のパフォーマンス	<p>SAP Business One のパフォーマンスが次のように大幅に改善されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> Grid オブジェクトによって、XML を使用したデータの迅速なエクスポートとインポートが促進され、データの更新と確認を効率的に実行することができます。 Matrix オブジェクトに <code>GetItemSpecific</code> メソッドが含まれているため、特定のセルからのデータの取得をより効率的に実行することができます。 拡張された複数のアドオン接続によって、RecordSet の呼出がより効率化されます。

XML 形式での削除のサポート

機能	説明
XML を使用した、取引先の削除	XML に基づく取引先行のオブジェクトを、GeneralService を使用して削除できるようになりました。

DI API

機能	説明
添付文書のパス	アドオン、Microsoft Word 文書、イメージなどの特殊ファイルの保存パスを修正できるようになりました。
手形取引	GetByKey メソッドを使用して、BillOfExchangeTransaction オブジェクト内の Deposits および BankPages サブオブジェクトを取得できるようになりました。
支店サービス	ユーザおよび従業員への割当が可能な支店のマスタリストで、アイテムの追加、更新、および削除を実行できるようになりました。
取引先プロパティサービス	取引先への割当が可能な、取引先のプロパティ名を更新できるようになりました。
先入先出在庫再評価サービス	先入先出アイテムに対して在庫再評価を実行できるようになりました。
NCM コード設定サービス	アイテムに割り当てることができる NCM コードの追加、更新、および削除を実行できるようになりました。(ブラジルのみ)
事前定義テキストサービス	文書の注釈項目への割当が可能な事前定義されたテキストのマスタリストで、アイテムの追加、更新、および削除を実行できるようになりました。
販売予測ビュー	既存の日次予測に加えて、週ごとおよび月ごとの販売予測を生成できるようになりました。
サービスコールサービス	サービスコールでの使用を目的とするさまざまなマスタリストで、アイテムの追加、更新、および削除を実行できるようになりました。 問題タイプ、コールタイプ、コール手段、ステータス、および解決ステータスのリストを修正することができます。
販売案件サービス	販売案件での使用を目的とするさまざまなマスタリストで、アイテムの追加、更新、および削除を実行できるようになりました。 競合他社、理由、案件対象、および情報取得元のリストを修正することができます。
特別価格表 (階層および拡張)	期間割引と数量割引 (すべての取引先に関連する特別価格表) の追加、更新、および削除を実行できるようになりました。
都道府県サービス	住所情報の一部として取引先などのオブジェクトに割り当てることができる都道府県のマスタリストで、アイテムの追加、更新、および削除を実行できるようになりました。

機能	説明
合計割引	Payments_Invoices オブジェクトの TotalDiscount プロパティによって、入金合計割引が公開されるようになりました。

UI API

機能	説明
グリッドデータのみのロード	Grid オブジェクトに、グリッドのデータおよびメタデータを XML にエクスポートするメソッドと、XML からグリッドのデータをロードするメソッドが追加されました。 これらのメソッドによって、グリッドデータの確認や更新時のパフォーマンスが大幅に向上します。
ButtonCombo	新たな ButtonCombo オブジェクトでは、ボタンとドロップダウンリストの機能が 1 つのコントロールに結合されます。
マトリクスとグリッドのソート	ソート可能な Grid オブジェクトで、エンドユーザが列をソートできるようになりました。 Grid オブジェクトと Matrix オブジェクトが、API からの列のソートをサポートするようになりました。
グリッド内の数値	Grid オブジェクトに <u>管理</u> モジュールの小数精度設定が適用されるようになったため、数値が正しい小数精度で表示されます。
右クリックイベント	ユーザによるアプリケーションウィンドウの右クリックをシミュレートする右クリックイベントを送信できるようになりました。

アドオン

機能	説明
Intrastat (ヨーロッパ)	Intrastat アドオンは、ウィザードベースの改善された環境を提供し、ゼロ申告と修正申告を処理します。また、Intrastat 申告に分割納入を含めます。さらに、クレジットメモでプラス値とともにマイナス値を表示するオプションを提供します。
XL Reporter	<p>SAP Business One 8.8 では、XL Reporter は SAP Business One コアアプリケーションから除外され、アドオンとして提供されるようになりました。</p> <p>XL Reporter は、Microsoft .NET Framework 2.0 をサポートしています。</p>

Copyrights, Trademarks, and Disclaimers

© Copyright 2009 SAP AG. All rights reserved.

The current version of the copyrights, trademarks, and disclaimers at <http://service.sap.com/smb/sbocustomer/documentation> is valid for this document.